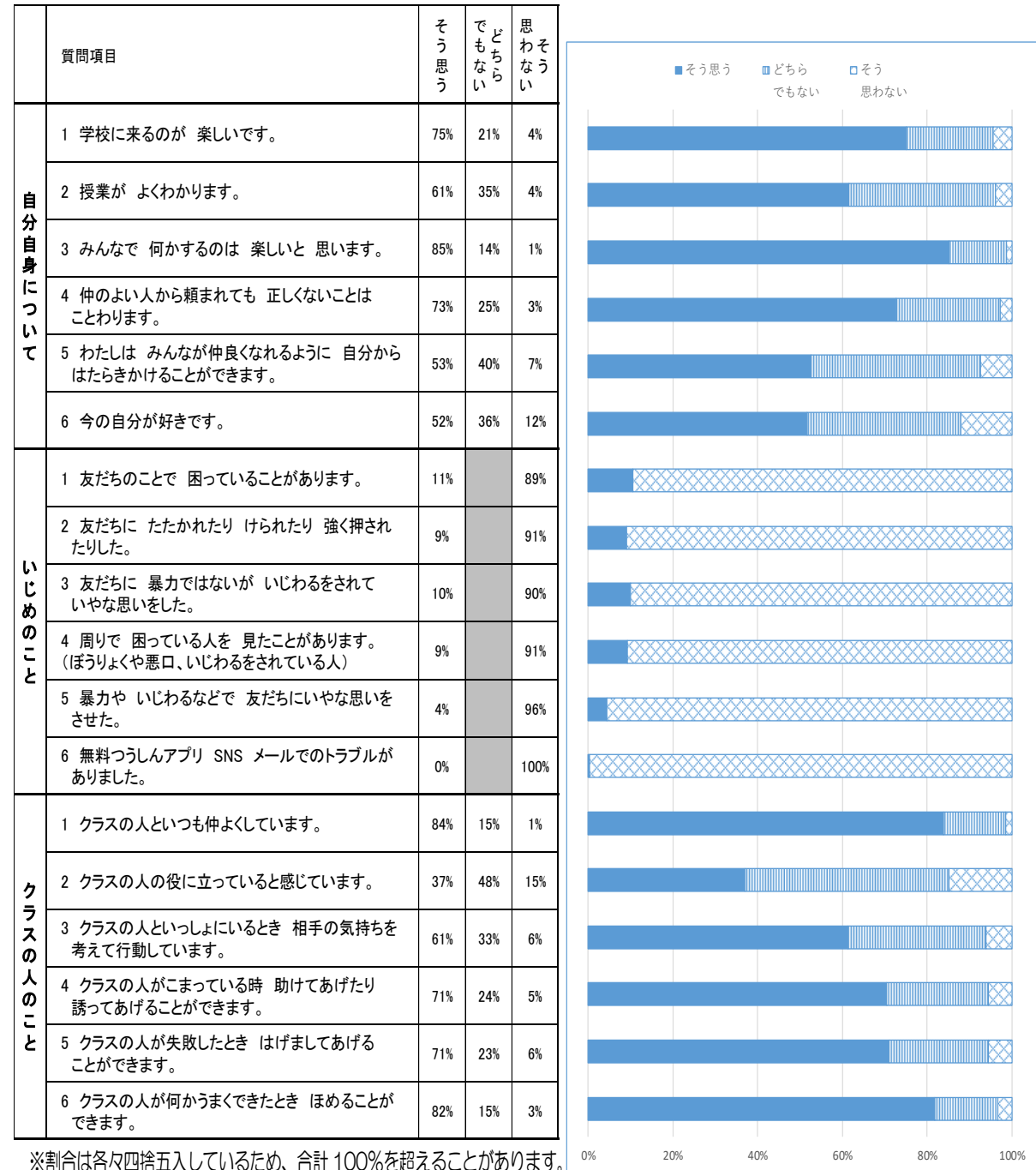


心と体の元気調べ（1学期）を実施しました

「心と体の元気調べ」は、年に3回子どもたちの学校生活の様子を把握するためのアンケートで、選択する部分と自由に記述する部分があります。「いじめアンケート」を兼ねており、子どもたちが抱えている悩みなどを、このアンケートからすくい上げ、指導に生かしています。

この度、1学期の「心と体の元気調べ」を2～6年生で（1年生は2学期から）実施し、結果の集計が出ましたので、以下に、集計を「表」と「グラフ」で表し、その考察を右面にお示しします。



※割合は各々四捨五入しているため、合計100%を超えることがあります。

＜自分自身について＞

「3.みんなで何かするのは楽しいと思います」では、「そう思う」が85%と非常に高く、集合型教育（登校して行う教育）の必要性や、コロナ禍ではなく1学期に様々な実施することができた学校行事（参観、日曜参観、学校公開、校外学習、児童会行事等）の大切さを再認識しました。

一方で「1.学校に来るのが楽しい」や「2.授業がよくわかります」は、本来100%が「そう思う」であってほしいところですが、「そう思う」がそれぞれ75%61%で、「そう思わない」が4%ありました。理由は様々ですが、学校の努力や工夫で改善できる場所もあると考えます。

「6.今の自分が好きです」では、「そう思う」が52%と低い値に留まり、「そう思わない」が12%ありました。大人に向かうこの時期は、自己肯定感や自尊感情を高め自分に自信を持って様々なことに向かって欲しいと思います。1学期は学校行事がたくさんありました。学校でも、「成功した経験」「成長を感じた経験」を重ねていきたいと考えております。

＜いじめのこと＞

文章で伝えたい内容を書く自由記述欄には、いじめをはじめとして伝えたいことがありました。選択する部分では、「1～3」自分、「4」友達がいやな思いをしていること、また、「5」いやな思いをさせたことが、どの学年でも一定数ありました。選択・記述ともに、本人に内容を確認し、過去のことや既に解決していること、曖昧なことなどもありますが、必要に応じて関係した子どもから聞き取り、本人の保護者や相手方の保護者にもお伝えしております。

言いたいことすべてをアンケートに書けない場合もあるため、保護者のみなさまで気づかれたことがありましたら、学校だより5月号でもお知らせしましたが、担任にお知らせください。

吹田市教育センターでは「いじめのなやみ相談専用ダイヤル」(06-6337-5411)を設けています。
対象:本人・保護者 日時:月～金曜日(年末年始・祝日は除く)及び第3日曜日の9時から17時

＜クラスの人のこと＞

「4.クラスの人がこまっているとき助けたり誘ったり…」「5.クラスの人が失敗したときはげます…」「6.クラスの人が何かうまくできたときほめる…」は「そう思う」が70%以上と比較的高い値でした。例年通り、優しい南っ子の側面がうかがえます。ところが、「2.クラスの人の役に立っていると感じています」の「そう思う」は37%と低い値であり、48%は「どちらでもない」と感じています。上記「4・5・6」の様な「友だちのための優しい行動」が友だちの役に立っていることであり、それに気づき、自己肯定感、自尊感情につながって欲しいものです。

臨海学習について 吹田市臨海学習指導資料には、その意義が大きく3点記されています。①「海でこそできる、海でしかできない」水泳指導。②「海でこそできる、海でしかできない」体験学習。③日常生活を大きく変えるきっかけとなる」社会体験。この意義ある行事を行うにあたって、「命を守る姿勢」を基本に、「海に慣れ親しむ」ことを目標に、全教職員が関わり取り組みを進めております。下見では6月に現地へ出向き、宿の見学と打ち合わせをし、昨年同様、今年の6年生の泳力に合わせた臨海学習を計画しております。

また、今週は、本校プールにて臨海指導研修会を行い、教職員の準備も着々と進んできました。更に、7月中旬には、5年生以下下校後に、全教職員参加の6年生臨海練習も予定しております。夏休み明けの学校だより紙面で、目標を達成し意義ある体験となった報告をご期待ください。